

第50回関東実業団対抗テニストーナメント大会 試合結果報告書
(ビジネスパル・テニス関東大会)

2011年7月24日(日)

(記) 本田技術研究所研友会テニス部 相田 哲志

◆ 総合成績

16チーム中10位

◆ 大会概要／要綱

1. 主催 関東テニス協会
2. 主管 東京都テニス協会 世田谷区テニス協会
3. 後援 世田谷区 朝日新聞社
4. 協賛 グリヂェストンスポーツ株式会社
5. 運営協力 株式会社 TS-Office
6. 期日 平成23年7月16日(土)・17日(日)
7. 会場 東京都世田谷区立総合運動場テニスコート
(〒157-0074 東京都世田谷区大蔵 4-6-1 TEL: 03-3417-4276)
12面(4面×3、全面) 砂入り人工芝コート
東京都世田谷区立大蔵第二運動場(旧、東京厚生年金スポーツセンター)
(〒157-0074 東京都世田谷区大蔵 4-7-1 TEL: 03-3416-1212)
3面×2フロック
8. 参加チーム 1都7県の代表 ・男子16チーム(各都県2チーム) ・女子8チーム
出場辞退その他の理由により参加チームが不足した場合の補充は、以下の順により決定する都県の次点チームとします。
 1. 主管都県
 2. 希望する都県による抽選(1) 各都県テニス協会所属の会社・銀行・官庁・商店のテニスチームに限ります。
参加選手は、プロフエツショナル登録をしていない社員・職員である事。
(但し、嘱託を含む雇用契約のある者に限りません。派遣社員は不可)
また、いかなる場合でも同一選手が複数のチームに登録することはできません。
9. 参加資格
 - (2) 各都県テニス協会の推薦するチーム。
 - (3) 次に該当する選手は、出場できません。

- ・男子は過去7年間（平成16年以降）、女子は過去5年間（平成18年以降）に、全日本選手権（本戦）に出場した者。
 - ・男女共、過去5年間（平成18年以降）に全日本学生選手権に出場し、シングルスベスト32ダブルスベスト16に入った者。
 - ・日本リーグに選手登録中の者。
- 但し、この登録中日本リーグに出場した実績のない選手に限り、次回同チームでの日本リーグに登録しない旨チーム代表者から実業団委員会に申告があつた場合は出場できません。
- (4) 女子のチームについては、元社員・元職員の参加を1ポイントに限り認めます。
10. チーム編成 (1) 登録選手は男女共5名以上9名以内とします。
- (2) 部長、監督、マネージャーは選手を兼務できません。
11. 試合形式 (1) 男子16チーム、女子8チームによるトーナメント戦。
- (2) コンソレーションにより順位決定戦を行います。
12. 試合方法 (1) 男女とも、複2試合及び単1試合による対抗戦
- (2) 単複に重複出場はできません。
 - (3) 8ゲームズプロセットマッチ、ノーアドバンテージスコアリング方式とします。
 - (4) 1回戦は原則として全試合を行います。対抗戦勝敗決定後はメンバー変更ができません。
 - (5) 試合方法は、天候等により変更する事があります。
 - (6) 試合開始時に、必ずオーダーに記載された選手全員が揃っていないければなりません。
13. 試合順序 原則として、D2・D1・Sの順序とします。
14. 登録選手変更
- 申し込み後の登録選手変更は、大会初日朝の監督者会議において1名の変更、又は登録人数枠内で1名の追加を認めます。ただし、女子チームの元社員・元職員の追加・変更は認めません。
15. オーダー
- ・登録選手に限ります。
 - ・ダブルスは登録順に関係なく組む事ができます。
- 原則としてソロチェアアンパイア（SCU）方式で行います。
16. 審判
17. 試合球 ブリヂストーンXT8（オクネーム）
18. 組合せ (1) 男子
- 前年度ベスト4の都県代表を第1～第4シードとし、他は抽選とします。但し、1回戦のみ同一都県のチーム同士が当たらないようにします。第3及び第4シードは抽選とします。

第1シード：千葉第1代表 第2シード：東京第1代表
第3シード：埼玉第1代表 第4シード：神奈川第1代表
(2) 女子

前年度優勝、準優勝の都県を第1～第2シードとし、他は抽選とします。

第1シード：東京代表 第2シード：千葉代表

男女とも優勝から4位まで表彰します。

19. 表彰
20. 全国大会
- (1) 男子の上位6チーム、女子の上位5チームは、全国大会に出場していただきます。

(2) 平成23年度第50回全国実業団対抗テニス大会（ビジネスパル・テニス）

・期日：8月26日（金）～8月28日（日）

・会場：北海道旭川市 花咲スポーツ公園テニスコート 他

(1) 「JTA テニス・ルールブック 2011」の規定に従います。

(2) 自チームの企業名、マークの制限はしません。但し、商品名は不可とします。

(3) 本項はベンチコーチにも適用します。

22. その他
- (1) 参加チームは1日目の勝敗に関係なく、必ず2日目のスケジュールに参加してください。（不参加の場合、対戦相手に迷惑がかかります）
- (2) 雨天の場合でも一度会場に参集してください。

(3) 天候等の事情により、抽選により順位を決定することがあります。

(4) 団体戦ですので、試合コートのバックネットに社旗を掲揚していただきます。

(5) プレー中の傷害等につきましては、主催者が加入する傷害保険の範囲で補償します。

◆ 大会役員

大会会長	明石 康				
大会副会長	岩淵 元	伍堂 英雄	飯田 藍		
大会顧問	高島 隆平	井上 早苗	櫻井 國臣	齋藤 寛	
	石坂 泰彦				
大会参与	香川 俊男	斎藤 博	山川 巖	黒澤 弘忠	
	土屋 金藏	増淵 賢一	南 操二	古川 博	
大会委員長	中川 暢行	平澤 秀佑	富田 勸	五十畑 孝司	
	長岡 三郎				
大会委員	會川 克行	森下 尚志	益子 和夫	榎本 正一	

森 清吉	平井 誠	磯部 修一	横澤 規佐良
田村 義男	山田 悠一	南野 泰造	柴崎 哲男
油井 正幸	上羅 廣	清水 寿彦	大友 昭敏
小林 繁	井村 孝一	今野 健雄	永瀬 信行
上島 義盛			

◆ 大会運営委員

運営委員長 益子 和夫 (関東実業団委員長)

運営副委員長 花木内 敬雄 (関東実業団副委員長・神奈川委員)

長谷川 英男 (関東実業団副委員長)

ダイレクター 寺田 隆 (関東実業団東京委員)

アシスタントダイレクター

近藤 孝司 (関東実業団千葉委員)

長島 泰治 (東京都協会事務局)

レフェリー 花木内 敬雄 (関東実業団副委員長・神奈川委員)

アシスタントレフェリー

福田 加代子 (東京都協会審判委員長)

佐久間 一也 (東京都実業団委員)

チーフアンパイア

山口 京子 (東京都協会審判委員)

アンパイア 勲日本テニス協会公認審判員

運営委員 柴田 光 (関東実業団茨城委員) 江連宜伸 (関東実業団栃木委員)

谷本 英雄 (関東実業団群馬委員) 井上 憲紀 (関東実業団埼玉委員)

鎌田 健義 (関東実業団山梨委員) 以倉 正樹 (関東実業団委員)

中込 利人 (関東実業団委員) 岡村 繁 (東京都実業団委員長)

片岡 正次郎 (東京都実業団委員) 橋本 幸夫 (東京都実業団委員)

高橋 孝由 (東京都実業団委員) 山口 昭二 (東京都実業団委員)

南部 隆也 (東京都実業団委員)

◆ チームメンバー

相田 哲志 (監督)

大久保 雄介

木村 寛

今野 辰二郎

根本 昌幸
萩原 優幸
松本 忠典
吉村 雄太 (マナージャー)

◆ 試合結果詳細

(一日目)

▶ トーナメント 1R 新日本建設戦
0勝 3敗 敗退

D2 木津 進 ⑧-6 今野 辰二郎
長野 重雄 木村 寛

D1 広田 定貢 ⑧-4 相田 哲志
野畑 祐一 吉村 雄太

S 安部 将大 ⑧-0 大久保 雄介

今大会第一シードである新日本建設に対し、挑戦者として総力戦で挑みましたが、最終的には実力の差を見せつけられた結果となりました。
しかし、特にDにおいては、要所で数少ないチャンスにすることで食いがり、スコア以上に競った展開に持ち込むことができました。
悔しい結果となりましたが、自分達のテニスがこういった強い相手にも通用することがわかり、自信にもなりました。

▶ コンソレーション 1R 東京エレクトロニックA戦
2勝 1敗 勝利

D2 相田 哲志 ⑨-8 戸木 教夫
吉村 雄太 (11-9) 藤原 千秋

D1 萩原 優幸 1-⑧ 山田 賢二
松本 忠典 大倉 成幸

S 大久保 雄介 ⑧-4 豊田 啓吾

D2では5-1リードから追いつかれる厳しい展開となりましたが、最後には気持ちで押し切り、何とか勝利を手にすることができました。

D1では今回関東大会初出場となる松本選手が緊張する場面でもしっかり戦ってくれました。

Sではエースである大久保選手が確実に勝利を収めました。炎天下の中大変厳しい戦いでしたが、選手全員が集中力を切らさず戦い抜くことができました。

▶ コンソレーション2R NTTデータ戦
0勝2敗 敗退

D2 川原 良太 ⑨-7 今野 辰二郎
埴原 弘智 木村 寛

D1 勇内 一路 ⑧-6 相田 哲志
内藤 裕喜 吉村 雄大

S 片岡 慎 6-5 大久保 雄介
打切り

三試合目ということで選手にも疲れが見えてきましたが、勝利の為に気持ちを高め、試合に臨みました。

D では格上の相手に対し、リードする場面もありましたが、最終的には相手の自力が上回り敗退しました。

(二日目)

▶ コンソレーション3R (9～12位決定戦) 東京エレクトロンB戦
2勝0敗 勝利

D2 木村 寛 ⑧-0 森 幹夫
萩原 優幸 久保 卓也

D1 吉村 雄太 ⑧-1 佐藤 貴成
大久保 雄介 若尾 和英

S 相田 哲志 打切り 田中 諭志

全国出場は逃してしまいましたが、気持ちを新たに二日目に臨みました。応援、選手一丸となって最後まで集中力を切らさずに戦った結果、2-0で勝利することができました。

▶ コンソレーション4R (9位決定戦) 日機装戦
1勝2敗 敗退

D2 萩原 優幸 4-⑧ 芹田 勇成
松本 忠典 秋山 尚史

D1 相田 哲志 ⑧-3 金子 真之
大久保 雄介 門脇 遼

S 木村 寛 4-⑧ 佐藤 孝洋

D2は初日のかたさが取れ、善戦しましたが、要所でポイントを奪われ敗退しました。

D1は実戦経験の少ないペアでしたが、全員の応援もあり、勝利を収めました。
Sは相手の鋭いストロークを必死で拾い、チャンスを待つ展開。昼の最も暑い時間帯で、厳しい状況の中、選手は決して諦めずボールに食らい付いていきましたが、最後は相手に押し切られ、敗退しました。

◆ 総括

昨年は手にした全国への切符を今年は手にすることができませんでした。しかし、今回の大会を通して、全員一丸となって戦うことで選手同士の信頼がより強まったこと、また、新たなメンバーが加わったことでチーム力は確実に強化されたと感じました。ただ、選手一同、今回の結果には満足していません。今回の大会で得た反省点や自信等の収穫をこれから始まる秋季、そして来年の春季大会へ活かしていきたいと思えます。

夏の盛りの中、大会運営にご尽力いただいた役員およびスタッフの皆様、力強いサポートを頂いた栃木県実業団委員の皆様、日頃よりご協力いただいているテニス部員の皆様に厚く御礼申し上げます。

◆ 大会の様子

